

シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第12回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「トラック運材」

昭和十年代に入ると山での運材にトラックが登場します。木曾では昭和十一年に民間のト



昭和10年代頃のトラック運材
(現在の木曾森林管理署管内)

トラックによる運材が初めて行われ、昭和十五年には帝室林野局木曾支局がトヨタ製のトラックを導入したと伝えられています。

この時代の運材はまだ森林鉄道が主役でしたが、自動車による運材の効率の良さは既に登場した当初から注目されていました。ただし、悪路での走行には苦労したようです。戦後も官営のトラック、いわゆる「官トラ」が活躍しますが、自動車の普及が一般にも進み、昭和三十年代には民間のトラックの活用に切り替えが進みます。木曾では昭和三十七年に完全に民間による請負作業となりました。



昭和17年頃のトラック運材
(現在の南信森林管理署管内)



昭和50年の「さようなら森林鉄道」式典に登場した運材トラック
(現在の木曾森林管理署管内)

自動車と道路網が発達した時期は森林鉄道が縮小し廃止されていたのとはほぼ同時期であり、国有林における作業の風景も変わっていききました。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。

当サイトへは、QRコードを読み込んでください。

